

## 海上自衛隊第2術科学校オープンスクール

神奈川地本カレッジ防衛モニター 井上 美桜

9月10日(土)、カレッジ防衛モニターの活動として、海上自衛隊第2術科学校オープンスクールの研修に参加した。

当日は好天に恵まれ、多くの見学者が参加していた。展示コーナーでは、海上自衛隊の艦艇で使用されているエンジンの展示されていて、それを実際に動かすところを見学した。耳栓をしていても伝わる轟音やエンジン自体の大きさ、そして手際よく操作を行う教官の姿に感動し、また、艦艇によってエンジンの種類が異なることも初めて知り勉強になった。その後、停泊している掃海艦「はちじょう」に乗艦し、日常でも使えるロープの結び方を教えて頂くとともに、艦内を見学した。退艦した後、最後に学生の方の行進展示も見学することもできた。

今回、私とほぼ同じ年くらいの学生の方が颯爽と行進する姿を見て、私も頑張ろうと改めて思うとともに、研修を通じて初めて学ぶことも多くあり、とても有意義な時間を過ごすことができた。

## 海上自衛隊第2術科学校オープンスクール

神奈川地本カレッジ防衛モニター 清水 丈太郎

9月10日(土)、横須賀市田浦にある海上自衛隊第2術科学校のオープンスクールに参加した。

術科学校とは、海上自衛隊において各種術科教育を担当している機関の一つで、全国に4つある。

同校では、主に艦艇の機関(エンジン)、情報、外国語等に関する教育を行っている。見学ツアーでは、エンジンの仕組みや実際に動かす場面を間近で体感することができ、また、普段は聞く事が出来ないような細部の話も聞けてとても斬新だった。

例えば、速力が必要な護衛艦のエンジンは、他の船舶で使うディーゼルエンジンではなく、ガスタービンエンジンという飛行機のエンジンと同様のものを用いていることなどである。また、海上自衛隊は同校にて1度きりの教育ではなく、部隊勤務を通じて練度が上がるにつれ再度教育を受け、知識や技術の修練に努めていることを知り、感銘を受けた。

研修の最後、今夏、大学の夏季休暇期間を利用して語学留学に行き、英語力を向上させる機会を得たこともあり、英語を必要とする職種はあるのかと隊員に質問したところ、イージス艦は取扱説明書など全て英語であり、英語が堪能な人は軍事英語を学んで是非解読してもらいたいと言われ、海上自衛隊に入隊した際には語学力を活かせる職種で働いてみたいと思った。

## 海賊対処行動に派遣されていた「ゆうぎり」を研修

神奈川地方協力本部厚木募集案内所(所長 岡山一海尉)は、10月2日(日)、海上自衛隊横須賀基地において、海老名・綾瀬地区父兄会(会長 大槻氏以下21名)の部隊研修を支援した。

当初、護衛艦「ゆうぎり」の研修では、同艦がソマリア沖での海賊対処行動に9月まで派遣されていたこともあり、参加者たちは興味津々な様子で艦内を見学するとともに、「3月の出国行事で見送ったゆうぎりを研修できて光栄です」「乗員の皆さんから丁寧の説明して頂き感激しました」などの声も聞くことができた。その後、第2術科学校に移動し、同校で勤務する会員のご子息である杉田士長を激励した後、資料館において、多くの貴重な展示品の数々を真剣な表情で見学していた。研修終了後、参加者からは「研修を通じて隊員の方とお話することができ、大変有意義な研修でした」との感想が聞かれるなど、とても充実した研修となった様子であった。

厚木募集案内所では、「今後も部隊研修支援を通じて、自衛隊に対する理解を深めてもらえるよう努力していく」としている。



第2術科学校の資料館を見学する会員



杉田士長(写真中央)を激励し記念撮影



「ゆうぎり」にて説明を聞く父兄会員

